

分担研究報告書

「労働生産性の向上や職場の活性化に繋がる 職種・業種ごとの効果的な健康増進手法ガイド」の作成

研究分担者 永田 昌子

研究代表者 森 晃爾

研究分担者 永田 智久

研究分担者 大和 浩

研究分担者 道下 竜馬

研究分担者 吉川 悦子

厚生労働科学研究費補助金(労働安全衛生総合研究事業)

分担研究報告書

労働生産性の向上や職場の活性化に資する対象集団別の効果的な健康増進手法及び

その評価方法の開発に関する研究

**「労働生産性の向上や職場の活性化に繋がる
職種・業種ごとの効果的な健康増進手法ガイド」の作成**

研究分担者	永田昌子	産業医科大学	産業生態科学研究所	助教
研究代表者	森 晃爾	産業医科大学	産業生態科学研究所	教授
研究分担者	永田智久	産業医科大学	産業生態科学研究所	講師
研究分担者	大和 浩	産業医科大学	産業生態科学研究所	教授
研究分担者	道下竜馬	福岡大学	スポーツ科学部	准教授
研究分担者	吉川悦子	日本赤十字看護大学	看護学部	准教授

研究要旨:

研究全体の成果物として、「労働生産性の向上や職場の活性化に繋がる職種・業種ごとの効果的な健康増進手法ガイド」を作成した。

ガイドの作成は、各分担研究者の研究成果を持ち寄り、構成や内容について研究班で検討し完成させた。構成は、先行研究で完成させた「生産性への貢献を意識した産業保健活動のプランニングガイド」のサマリーを盛り込み、「職種・業種ごとの健康課題の違い」、「プログラム企画における職種・業種の違い」についての説明と、事例を4つ紹介した。

「職種・業種ごとの健康課題の違い」は、一昨年度に整理した一覧表の各項目の関連性が分かるように図示することを試み、図「職種による健康課題の違い」を完成させた。また、「プログラム企画における職種・業種の違い」については、本研究で実施した4つの介入研究の議論から得られたものである。また、事例は、健康増進手手法の注意点の解説を加えた。

今後、産業保健活動に携わる関係者に普及していくことが望まれる。

研究協力者

吉川 徹	労働者健康安全機構	労働安全衛生総合研究所	統括研究員
神出 学	産業医科大学	産業生態科学研究所	専門修練医

A. 目的

本研究の目的は、3年間の研究全体の成果物として、労働生産性の向上や職場の活性化に繋がる職種・業種ごとの効果的な健康増進手法ガイド作成することである。

労働生産性の向上や職場の活性化に繋

がる健康増進プログラムが効果的に展開されるよう、実施前に検討すべき事項や理解して置くべき事項を盛り込んだガイドを作成することである。

B. 方法

ガイドの作成は、各分担研究者の研究
成果を持ち寄り、構成や内容について研究
班で検討し完成させた。検討の場は、研究
班会議 1 年目～3 年目、および平成 30 年
度産業医・産業看護全国協議会の公募シン
ポジウムでの場で行われた。

「職種・業種ごとの健康課題の違い」は、一
昨年度に整理した表について、各項目の関
連性が分かるように図示することを試み、図
「職種による健康課題の違い」を完成させた。
また、「プログラム企画における職種・業種の
違い」については、本研究で実施した4つの
介入研究の議論から得られたものである。ま
た、事例は、健康増進手手法の注意点の解
説を加えた。

C. 結果及び考察

検討の結果、目次は下記になった。

1. 生産性向上に産業保健の貢献が期待さ
れる背景とガイドの目的
2. 「労働生産性の向上や職場の活性化に
繋がる職種・業種ごとの効果的な健康増進
手法ガイド」サマリー
3. 職種・業種による健康課題の違い
4. プログラム企画における職種・業種の違
い
5. 事例のマトリクス
- 6(1) 製造業の営業職に対して個別の睡眠
衛生教育を実施した事例
- 6(2) 製造業の現場作業/事務職に対して運
動プログラムを提供した事例

6(3)―A 医療機関の看護部門に対して参
加型の職場環境改善の取組を行った事例

6(3)―B. 保険金融業において派遣社員と
正社員が混在した事務職場に対して参加型
の職場環境改善の取組を行った事例

D. 結論

1. 研究全体の成果物として、本ガイド
を作成した。
2. 労働生産性の向上や職場の活性化に
繋がる健康増進プログラムが効果的に展
開されるよう、実施前に検討すべき事項
や理解して置くべき事項を盛り込まれた。
3. 今後、産業保健活動に携わる関係者
に普及していくことが望まれる。

E. 引用・参考文献

なし

